

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第6回）
議事録

平成30年12月21日
官邸2階小ホール

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第6回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事1「SDGsアクションプラン2019」、議事2第2回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体について、和泉総理補佐官から説明をお願いします。

【和泉総理補佐官】

資料1の『SDGsアクションプラン2019』について御説明いたします。

1ページ目を御覧下さい。来年のG20サミット、TICAD7、初のSDGs首脳級会合に向け、これまでの「SDGsモデル」の3本柱である、①ソサエティ5.0の推進、②地方創生、③次世代・女性のエンパワーメントに沿って、国内実施・国際協力の両面においてSDGsを推進していきます。

2ページ目には、来年のG20議長国として、日本がリーダーシップを発揮していくSDGs主要課題をまとめました。日本は、強靱かつ環境に優しい「国づくり」や、「人間の安全保障」に基づき、世界の「人づくり」に貢献していきます。

3ページ目以降には、3本柱に沿った各府省の具体的な取組を掲載しております。

国際社会の注目が日本に集まる来年に向けて、日本のSDGsモデルを国際社会に対して発信すべく、政府を挙げて取り組んでいきます。

次に、資料2の第2回ジャパンSDGsアワード受賞団体について御説明いたします。

今回も250件近くの応募があり、「SDGs推進円卓会議」構成員による審査を経て、本部長賞1件、副本部長賞6件、特別賞である「SDGsパートナーシップ賞」8件を受賞団体として決定したいと考えています。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、何か御発言等ございますか。

【河野外務大臣】

G20、TICAD7、SDGs首脳級会合が開催される2019年は、「人間の安全保障」に基づく日本の取組を国際社会に発信する絶好のチャンスです。

G20議長国として、質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみ、気候変動、女性、保健、教育等の分野で、国際社会の取組を主導します。

【麻生副総理兼財務大臣】

今月から日本が議長を務めるG20の財務トラックでは、質の高いインフラ投資、災害に対する強靱性強化、UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）等、財務省が注力してきたSDGsに関する取組を取り上げます。これらの推進を通じSDGs達成に引き続き貢献します。

【根本厚生労働大臣】

保健分野では、来年のG20保健大臣会合も見据え、関係省庁や国際機関等と連携しながら各国におけるUHCの推進に積極的に貢献します。

成長・雇用分野では、働き方改革関連法の施行に万全を期すことで改革を着実に推進します。

【世耕経済産業大臣】

TCFDに基づく情報開示をはじめ、経営へのSDGs取込みを促進します。

G20も活用し、エネルギー転換を推進、貿易投資やデジタル技術による社会課題解決も発信します。

SDGs達成に向け大阪万博の成功に取り組めます。

【原田環境大臣】

「環境と成長の好循環」に向けて、気候変動対策や海洋プラスチックごみ対策に全力で取り組めます。特に、SDGsの地域における実践である地域循環共生圏づくりを推進し、国内外に積極的に情報発信してまいります。

【宮腰国務大臣】

既に、私からSDGsの実現を消費者行政の大きな柱に据えるよう指示しております。

すが、これを、順次具体化し、表示・取引・安全の各分野で、様々な社会的、経済的変化に的確に対応した消費者行政を推進する考えです。

【櫻田国務大臣】

東京大会を「SDGs大会」と言えるよう、引き続き、支援していきます。「都市鉱山を活用したメダルプロジェクト」の回収ボックスリレーも全省をまわる予定です。各省の協力を御礼申し上げます。

【平井国務大臣】

アクションプラン2019をふまえ、STI for SDGsの推進に積極的に取り組みたいです。

ロードマップの策定や、シーズ・ニーズをマッチングさせる場の構築を進め、SDGsの達成に貢献してまいります。

【吉川農林水産大臣】

本部長賞の日本フードエコロジーセンター等食料農林水産分野からの受賞を嬉しく思います。

今回、農福連携、スマート農林水産業、海洋プラスチック対策等多くの施策をアクションプランに追加しました。

SDGsの実現に積極的に貢献していきます。

【石田総務大臣】

「Society 5.0時代の地方」をキーワードに、地方のニーズを踏まえて、多言語音声翻訳技術などのICTの社会実装を推進し、その成果を海外展開することで、SDGsの実現に一層貢献していきます。

【柴山文部科学大臣】

関係府省と連携しつつ、「日ASEANブリッジイニシアティブ」等を通じたSTI for SDGsの取組及び次世代の教育振興の推進や、スポーツ・文化における取組の加速により、SDGsの達成に努めます。

【片山国務大臣】

SDGsの全てのゴールの実現には、分野横断的な価値としてジェンダー平等の実現が不可欠であり、男女共同参画及び女性活躍の取組の一層の強化が必要です。

地方創生の深化に向け、引き続き、SDGs未来都市の選定や官民連携を推進する他、2月に第1回地方創生SDGs国際フォーラムを開催します。

【山下法務大臣】

法務省から、既存6施策に加え、無戸籍者問題への取組、総合法律支援の充実、開発途上国への法制度整備支援等がアクションプランに加わりました。

先般、SDGs法務省ロゴを作り国連の承認を得たところ、広報にも注力していきます。

【内閣官房長官】

他に御発言もないようでしたら、「SDGsアクションプラン2019」及び、第2回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体について、本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。

【内閣官房長官】

最後に、総理から御発言をお願いします。

【内閣総理大臣】

安倍政権は、かつてないスピードで変化する世界から「誰一人取り残さない」社会を実現すべく、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献します。

キーワードは、「豊かで活力のある未来に向けた国づくり」、「子や孫の世代に誇れる日本」、そして「国際社会をリードする日本」です。

第一に、「豊かで活力のある未来に向けた国づくり」を進めます。SDGs推進の流れを大企業から中小企業にも広げ、全国にSDGsの活力を行きわたらせます。

最新の科学技術イノベーションを活用し、スマート農林水産業による地域の活性化や、海洋プラスチックごみ対策等を通じた循環型社会の構築につなげていきます。

本年見られたような気候変動により激甚化する災害に対応するため、持続可能で強靱な国づくりに全力を尽くします。

第二に、人生百年時代に向け、「子や孫の世代に誇れる日本」を作るべく、未来を担う子供たちや女性に大胆に投資します。3月に国際女性会議とW20を同時に開催し、「女性が輝く社会」の実現に向けた取組を世界に訴えます。

次世代の声と力を活かすべく、学生や若い社会人を中心とした「次世代のSDGs推進プラットフォーム」を立ち上げます。

第三に、「国際社会をリードする日本」を世界に発信します。来年は、G20やTICADがあります。

世界の注目が日本に集まるこうした機会を通じ、SDGsの力強い担い手たる日本の姿を国際社会に示していきます。

G20やTICADを通じ、質の高いインフラ、防災、海洋プラスチックごみ対策、気候変動等の取組をリードします。「人間の安全保障」や「人づくり」の基礎となる女性、保健、教育を重視します。

これらの成果を、来年9月の国連総会の際に開催されるSDGs首脳級会合において、G20議長として国際社会に対して発信します。

以上を踏まえ、関係閣僚においては、日本のリーダーシップを示すべく、G20の直前となる次回SDGs推進本部会合に向けて、具体的な取組の推進・強化をお願いします。

【内閣官房長官】

それでは、以上をもって、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第6回会合を終了します。

(了)